学校番号	1011

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	新編「国語総合」（数研出版）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版）　常用漢字ダブルクリア（尚文出版） アドバンス現代文Ⅰ（京都書房）　古典文法用言徹底ワーク（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語総合は現代文・古文問わず、国語に関する知識や言語事項を身につけるための活動を行います。
社会生活の中で必要な語句の意味、用法及び表記の仕方といった基本的な内容を身に付け、文章を読む力をつけることを目標に学習に取り組んでください。
また、文章を読む力をつけるだけではなく、文章構成や表現力を身に付け、相手に伝えることを意識した文章を書くことを目標として授業を進めます。
ただ文章を読んで答えを考えることも大切ですが、教材を読む中で様々なものの見方や考え方を学ぶことや、自分の考えを相手に伝えられる実用的な力を身に付けるということも意識をして学習を進めてください。

２　学習の到達目標

・国語に関する知識、言語事項を身につけ、言語文化に対する関心を深める。
・適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝えあう力を高める。
・様々なものの見方、考え方・感じ方を知り、主体的に物事をとらえることのできる判断力幅広い人間性を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a 関心・意欲・態度	b 話す・聞く能力	c 書く能力	d 読む能力	e 知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・記述の点検 ・グループワーク	・グループワーク ・発表	・記述の点検 分析 ・プリント	・記述の点検 分析 ・プリント	・記述の点検 ・確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	世界は一つのクラスルーム	・文章の内容を構成や叙述に応じて的確に読み取り、筆者の意図をとらえる。 ・常用漢字の読みに慣れ、語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。	○			○	○	a:指示語に注意して文脈を的確に読み取っている。 e:常用漢字の音訓を正しく読み、また文脈に応じて正しく書いている。 d:表現に込められた筆者の意図をとらえている。	記述の点検 記述の分析 確認テスト
	とんかつ	・文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。 ・文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 ・常用漢字の読みに慣れ、語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。	○			○	○	a:語り手と登場人物を把握し、印象の変化を追っている。 d:語り手の視点から状況を読み取り、登場人物の心情に迫っている。 e:常用漢字の音訓を正しく読み、また文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検 記述の分析 活動の様子 確認テスト
	短歌・俳句	・文章の内容や形態に応じた表現の特色に留意し理解する。 ・文章の語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。	○			○	○	a:俳句・短歌の特色に気付き、日本の伝統的な言語文化に対する関心を広げている。 d:リズムや切れ字をふまえて読んでいる。 e:体言止め、切れ字、対比、比喩などの表現上の特別な効果を理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子
二学期	語感トレーニング	・文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 ・国語における表現の特色を理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。	○		○	○	○	a:日本語の語彙に起こった変化を追い、筆者が述べる現代日本語の特性を的確にとらえている。 c: :常用漢字の読みになれ正しく書くことができる。 d:常用漢字の音訓を正しく読むことができる。 e:片仮名語と平仮名表記の語感との違いを考え、理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子 確認テスト
	サーカス	・詩の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価する。 ・文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。	○	○			○	a:ブランコの揺れやサーカス小屋を表現するためにどのような語句、表現の技法が用いられているかを考察し、自分の言葉でまとめている。 b:詩の内容を理解し、その内容について自分の考えを話すことができる。 e:詩の形態や文体の違いによる特色を理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子 確認テスト
	羅生門	・文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。 ・常用漢字の読みに慣れ、語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。	○	○			○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、その人物像をまとめている。 b:人物像や心情について意見交流をし、考えを深めている。 e:常用漢字の音訓を正しく読み、また文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検 記述の分析 活動の様子 確認テスト

三学期	水の東西	・文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 ・本文の構成や内容理解でけでなく、自分の考えや意見を書く活動に活かす。 ・常用漢字の読みに慣れ、語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。	○			○	○	a:文章の具体例と抽象的表現を的確にとらえている。 d:文章の組立てについて理解し、自分の考えや意見に活かしている。 e:常用漢字の音訓を正しく読み、また文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検 記述の分析 活動の様子 確認テスト
	ナイン	・文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。 ・文章の内容や表現の仕方について、筆者の意図をとらえる。 ・常用漢字の読みに慣れ、語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。	○	○	○	○	○	a:描かれている人物の心情や人物像をまとめている。 b:人物像や心情について意見交流をし、考えを深めている。 c:人物の心情について自分の考えを書くことができる。 d:エピソードの挿入や結末部の表現などに込められた筆者の意図をとらえている。 e:常用漢字の音訓を正しく読み、また文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検 記述の分析 活動の様子 確認テスト

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	古典文法・歴史的仮名	・言語文化の特質に気付き、伝統的な言語文化について理解する。 ・文語のきまりや語句の意味を理解する。	○				○	a:古文や伝統的な言語文化に慣れ親しんでいる。 e:歴史的仮名遣いについて理解している。	記述の点検 確認テスト 活動の様子
	宇治拾遺物語「児のそら寝」	・文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。 ・言語文化の特質に気付き、伝統的な言語文化について理解する。 ・文語のきまりや語句の意味を理解する。	○			○	○	a:古語と現代語の共通点、相違点に気付く。 d:文章を表現に即して読み、心情や人物像をとらえている。 e:歴史的仮名遣い・語句の意味について理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子
	古典文法・品詞用言	・品詞の違いについて理解する。 ・活用の種類や活用形について理解している。 ・文語のきまりや語句の意味を理解する。					○	e:品詞の違いや活用の種類、活用形について理解している。	記述の点検 確認テスト 活動の様子
二学期	宇治拾遺物語「検非違使忠明」	・文章に描かれた人物、心情を表現に即して味わう。 ・言語文化の特質に気付き、伝統的な言語文化について理解する。 ・文語のきまりや語句の意味を理解する。	○			○	○	a:古語と現代語の共通点、相違点に気付く。作品としての価値に気付いている。 d:文章を表現に即して読み、人物像をとらえている。 e:品詞の種類や語句の意味について理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子

	徒然草「高名の木登り」	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・文語のきまりや語句の意味を理解する。				○	○	d:登場人物とその言動を読み取り、筆者がどうとらえているかを理解する。 e:品詞の種類や語句の意味について理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子
	徒然草「奥山に猫またといふものありて」	・文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。 ・文語のきまりや語句の意味を理解する。				○	○	d:文章に描かれている情景を、読み、人物の言動や状況をとらえる手掛かりとしている。 e:品詞の種類や語句の意味について理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子
	伊勢物語「芥川」	・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 ・文語のきまりや表現の特色を理解する。					○	e:文語のきまりを理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子
三学期	平家物語「木曽の最期」	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・文語のきまりや語句の意味を理解する。	○				○	a:人物、情景、心情などの描かれかたをとらえ、その効果について考えることができる。 e:文語のきまりを理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子
	漢文入門「格言」	・文章の形態に応じた表現の特色に注意して読む。 ・我が国の文化と外国文化との関係に気付く。 ・訓読のきまりについて理解する。	○			○	○	a:漢文訓読の文体が、現代語の文章表現の骨格の一つとなっていることに気付いている。 d:漢文訓読の文体に注意しながら読んでいる。 e:訓読のきまり（訓点を用いた訓読方法・書き下し文）を理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子 確認テスト
	漢文「虎の威を借る狐」	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・我が国の文化と外国文化との関係に気付く。 ・訓読のきまりについて理解する。 ・国語における言葉の成り立ちを理解する。	○				○	a:漢語が、現代語の文章表現の骨格の一つとなっていることに気付いている。 e:訓読のきまり（置き字の意味・用法）を理解している。	記述の点検 記述の分析 活動の様子

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

・「古典」分野の観点に「ｂ：話す・聞く能力」「ｃ：書く能力」はないが、科目「国語総合」としての学習評価を示しているため、表中に項目名を入れている。

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。